

授業科目 身体運動文化論

【担当教員名】 小田切毅一	対象学年	2	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標 : G I O>】

身体や運動に関わる文化、もしくはスポーツに関する種々の文化的諸事象が、時代的制約や社会的ニーズとの関係性の中で、どのように強調されたり、受け入れられてきたかを、近代日本史における変動期を事例に学ぶことによって、関連文化のクリエイターに不可欠な教養を身につける。さらに現代の多様な文化的諸相を概観しつつ、学問的・科学的研究への具体的関心と結びつくように動機づける。

【<学習目標>又は<行動目標 : S B O>】

- ・ 明治期における西欧文化への傾倒の中で、スポーツはどのように受け入れられ、定着していったかを理解する。
- ・ 戦前期までに、いわゆる日本的体育・スポーツ道として形成されるに至ったスポーツの文化的特性を理解する。
- ・ 終戦にともなう民主化の要請によって、体育やスポーツへの強調点はどのようにシフトしたかについて、自分の見識を持つことができる。
- ・ スポーツが今日の極めて重要な社会的・文化的ニーズと関わっていることを理解し、発言できるようにする。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ガイダンス：時代的制約・社会環境に伴い変化する身体文化・運動文化・スポーツ文化		
2	江戸期と明治期①：我が国へ近代スポーツが導入された際の戸惑いや混乱考		
3	江戸期と明治期②：「着物社会」では、どのようなスポーツ運動が可能だろうか		
4	江戸期と明治期③：野球の伝播と普及にみる日本の性格とアメリカ的性格		
5	江戸期と明治期④：嘉納治五郎による講道館柔道考案と西欧スポーツ		
6	戦前期と戦後期①：「日本的体育・スポーツ道」の形成をめぐる		
7	戦前期と戦後期②：「体操科」（体錬科）から「体育科」へ：教科体育の変遷		
8	戦前期と戦後期③：国民体育大会ならびに日本レクリエーション大会開催の裏表		
9	戦前期と戦後期④：東京オリンピック前後にみるスポーツ・ガンバリズム		
10	現代的諸相①：スポーツの勝利至上主義、記録化、合理化、高度化etc.		
11	現代的諸相②：行うスポーツと見るスポーツ（ヒーローと観衆、情報化）		
12	現代的諸相③：スポーツの近代化そして脱近代化、ニュースポーツ現象への期待		
13	現代的諸相④：生涯スポーツの時代、健康ブームの中の運動習慣づくり再考		
14	総括論議：身体・運動・スポーツ文化を容れさせるもの、スポーツは何を目指すのか		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	授業に先立って適宜提供			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況＋試験およびレポートによる 課題技の評価	【履修上の留意点】
---------------------------------------	-----------

健康スポーツ学科 専門